

当組合の概要 (令和5年3月31日現在)

名 称	愛知県中央信用組合(略称けんしん)
本店所在地	愛知県碧南市栄町2丁目41番地
創 立	昭和28年7月8日
出 資 金	2,404百万円
組 合 員 数	32,862名
店 舗 数	12店舗
役 職 員 数	166名
預 金	1,723億円
貸 出 金	1,041億円
ホームページ	https://www.aichi-kenshin.co.jp/



CONTENTS

けんしんの経営体制

ごあいさつ	2
経営理念、第七次中期経営計画	3
令和5年度事業計画	4
事業の概況	4
経営指標等の推移	5
マネー・ローンダリング、テロ資金供与対策 及び拡散金融に係る基本方針	5
コンプライアンス態勢の強化	6
リスク管理態勢の強化	7
開示債権の状況	9
顧客保護等管理態勢の強化	10
苦情処理措置及び 紛争解決措置等の概要	12

地域社会への取組み

お客様満足度向上への取組み	13
トピックス	15
地域貢献に関する取組み	16
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組状況	17

けんしんの概要

総代会制度	20
組織・役員一覧	23
営業地区・店舗一覧	24
業務のご案内	25
手数料	28
沿革・歩み	31
資料編	32



イメージキャラクター

は一とくんです。

よろしく申し上げます。

ごあいさつ



平素は愛知県中央信用組合に格別のご愛顧、お引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和4年度(第70期)の業績及び経営の状況をご報告し、私どもの取り組みについてご理解を深めていただくために、「KENSHIN DISCLOSURE 2023」を作成いたしました。

ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、2022年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあり、緩やかな持ち直しが続いております。その一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増えています。

先行きについては、アフター・コロナ、ウィズ・コロナの中で社会経済活動を継続することにより、地域経済レベルは徐々に引き上げられていくことが見込まれていますが、一方でロシア・ウクライナの地政学リスクに伴う資源価格や金融市場の動向など、内外経済を下振れさせるリスクには十分注意する必要があります。

2022年度は、第七次中期経営計画の初年度にあたり、お客様と共に豊かな地域の未来を創り上げ、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立するための諸施策を進めてまいりました。

その結果、業容面では、預積金期末残高5.00%減少の1,723億円、貸出金期末残高1.92%増加の1,041億円、当期純利益109百万円の計上となりました。また、自己資本比率は国内基準4%を上回る8.81%を維持しております。これも皆様のご愛顧の賜物であり、深く感謝申し上げます。

2023年度「けんしん」は「HEARTS AND COMMUNITY」の経営理念の下、第七次中期経営計画の2年度を貫く実践課題として、人的基盤改革の中から「喜びと活気に満ちた職場環境の創出」を掲げ、役職員のスキルアップによって、お客様の満足度向上を図るとともに、働きやすい職場環境を整備し、職員の満足度向上に繋げていくこととしました。また、2023年度は当組合の創立70周年の年であるため、従来以上に役職員間の絆を深め、感謝の気持をもって、地域やお客様へのお役立ちを実践していくことと致します。

当組合は、今後も組織強化と人材育成に注力してまいりますとともに、法令遵守及び内部管理態勢の充実・強化を図り、より地域に根差した金融機関「けんしん」として、その独自性を発揮し、皆様方のご期待にお応えできるよう、役職員一同、なお一層の努力をいたしてまいります。

今後とも格別のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5年 7月
理事長 森 茂樹